

○ふるさと応援寄附金協働のまちづくり事業助成金

4億5千614万3千円

【主な内容】

市民との協働のまちづくりを推進するため、NPO等が市内を活動範囲として行うまちづくり活動に対し、助成金を交付する。

・事業内容

事業主体・特定非営利活動法人 相馬救援隊

【質疑】

この事業の趣旨は、地域の課題解決や復興活動に取組む市民活動団体への支援するための助成である。その財源は本来税金として納税されるべき寄附金が市を経由して交付されることに鑑みれば、他の公共サービスの提供などと同様に、事業執行に必要な調達物であったり、人件費の支払い等の使われ方においても、当然に税金に準ずるような扱いを受けるべき資金であると理解するが、市の見解は。

【答弁】

ふるさと納税による寄附金を歳出予算で支出する際は、事業計画を庁内

審査会でしっかり審査すると同時に、実績報告でも本来の使途と異なる支出が混じっていないかどうか、厳しく審査しながら助成金を確定することとしている。

○行政嘱託員事業

6千578万2千円

【質疑】

行政嘱託員の文書配布業務は負担が大きいとの指摘がある。改善はどのように図られているのか。

【答弁】

文書配布ではなく回覧できないか等、協力依頼している。また、配布物の袋詰めを配布前日に行えるよう改善を図りたい。

○放課後児童健全育成事業

1億239万9千円

【主な内容】

授業の終了後等に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供する。

・実施施設

(小高区) 小高合同児童クラブ
(鹿島区) 鹿島・八沢・上真野児童クラブ
(原町区) 東町・上町・橋本町・大甕・太田・石一・石二・原町第一児童クラブ

【質疑】

定員超過解消のための対応策は。

【答弁】

原一小と原三小は毎年定員超過の状況であることから、昨年学校に赴き、部屋の確保についてはある程度合意を得た。人員について、最近になり少しずつ応募があることから、超過しているところに対し配置を進めていく考え。

○保育士等人材確保事業

107万3千円

【主な内容】

保育士及び幼稚園教諭の人材不足を解消するため、人材確保に向けた取組みを実施する。

・事業内容

保育士養成学校訪問、保育士就職フェア参加

【質疑】

本市出身の学生が進学している専門学校、短大、大学等に働きかけることも効果的ではないか。

【答弁】

相双管内の高校から進学している学校を調査し、学生の多いところを重点的に訪問した。次年度は、本市からの進学者が多い学校について、特に力を入れて宣伝していく。



○空家等対策推進事業

2千913万4千円

【主な内容】

市内の空家等の増加による生活環境悪化の軽減及び空家等の利活用を推進するため、空家対策事業を実施する。

・事業内容

空家等実態調査の実施

【質疑】

空家の実態調査結果の活用について、どのようなことを想定しているのか。

【答弁】

活用の方向性として、主に近隣に迷惑をかけている空家については、適正管理を所有者に願います。また、利活用については、所有者の意向等に沿いながら、空家バンク等に登録していただく。除去等については、助言・指導・勧告・命令、最後は代執行という方向で今後進めていく。

○ITプログラミングキャンプ事業

991万3千円

【主な内容】

進路選択やキャリア教育に資するため、子どもたちが先進的なITプログラミング教育を受ける機会を提供する。

・事業内容

夏期間中に集中して、技術習得・アイデアワーク・プレゼン等のスキルを磨くITプログラミングキャンプを開催する。

【質疑】

全国20自治体と共同でプログラミング教育の取り組みをされている団体との随意契約となっているが、プロポーザルを行うことで、もっと良い事業者が出てくる可能性があるにもかかわらず、強引に進めようとしている印象を受けるが、なぜそのようなになったのか。

【答弁】

今回委託しようとしているプログラミングキャンプの実施に係る運営の部分には、知的財産と言ふべき当該企業が所有して

○教育先進地との教員交流研修事業

99万9千円

【主な内容】

本市の職員が、教育先進地に勤務する教員との交流研修を通じて、教員としての実践力の向上を図るとともに、その交流の成果を本市の学習向上や特色ある学校づくりの推進に生かす。

・事業内容

交流研修相手先… 秋田県由利本庄市派遣(交換)教員… 小学校教員1名 中学校教員1名

【質疑】

当該企業の持っているノウハウが良いということだが、他に何社調べたのか、また、ここが良いと判断した決め手はどういったものなのか。

【答弁】

2,3社を調査した経過がある。また、当該事業所を選定した理由は、指導が充実しているということに加え、プログラミングキャンプのプログラムは、一つ一つの専門性が高く、参加した子供たちがプログラムをつくり上げることによる達成感が得られるものと考え、この事業者が良いと判断した。

○教育先進地との教員交流研修事業

99万9千円

【主な内容】

本市の職員が、教育先進地に勤務する教員との交流研修を通じて、教員としての実践力の向上を図るとともに、その交流の成果を本市の学習向上や特色ある学校づくりの推進に生かす。

・事業内容

交流研修相手先… 秋田県由利本庄市派遣(交換)教員… 小学校教員1名 中学校教員1名

【質疑】

秋田県が先進地ということとは理解したが、小学校・中学校教員各1名の選抜について、複数で行った方がより効果的なのではないか。

【答弁】

由利本庄市は様々な地域から受け入れていることから難しい状況である。指導力があり、広く指導力向上のために寄与したいという意欲のある先生を派遣する予定。

【質疑】

なぜ由利本庄市を選定したのか。複数受け入れが大変だということであれば、秋田県内の他の自治体という選択肢があったのではないか。

由利本庄市は被災地のためにということだけでなく引き受けていただいております。指導主事の先生方が、平成26年度から続けて本市の学校で授業していただいている。また、これまでは1日程度であったが、今度は1週間程度来ていただけているということを選定した。

